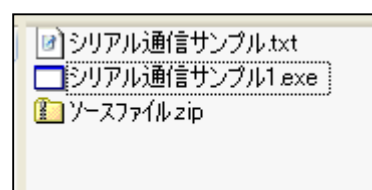


シリアル通信サンプルプログラム（64bit 対応） 説明書

本書は、Windows XP, 7・8・10 64bit 版対応「シリアル通信サンプル 1.exe」サンプルプログラムについて説明しております。

※ Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。

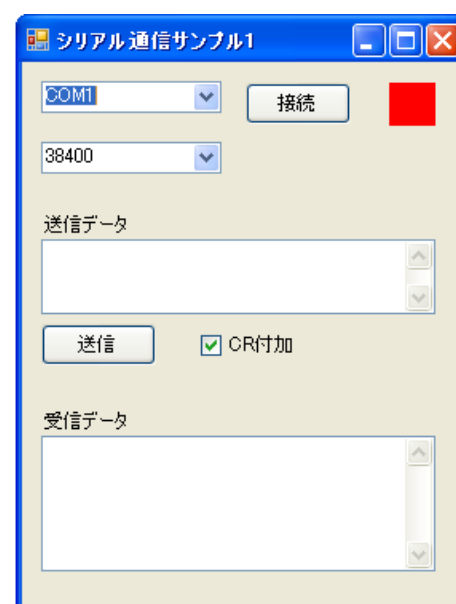
本プログラムは、「サンプルソフト」フォルダ内の「シリアル通信サンプルプログラム (Win XP・7・8・10 64bit 対応)」フォルダに収納されており、以下の様な構成になっております。尚、「ソースファイル.zip」にはプログラムのソースファイル群が収納されています。



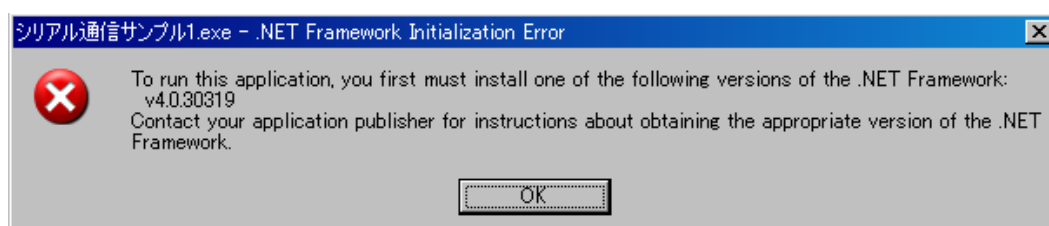
1、プログラムの導入方法

上記フォルダ内の「シリアル通信サンプル 1.exe」がプログラム本体となります。PC 内の任意の場所にコピーして下さい

「シリアル通信サンプル 1.exe」を実行すると右の様な画面が表示されます。



※ 実行時に以下の様な表示が出た場合には、必要ファイルのインストーラを「サンプルプログラム」フォルダ内「Net Framework4」フォルダに収納していますので、実行しインストールして下さい。



2、 プログラムの使用方法

1) 通信条件の設定。

PC に接続されたリーダ／ライタとの通信条件を設定します。

右図①でご使用の COM ポートを選択して下さい。

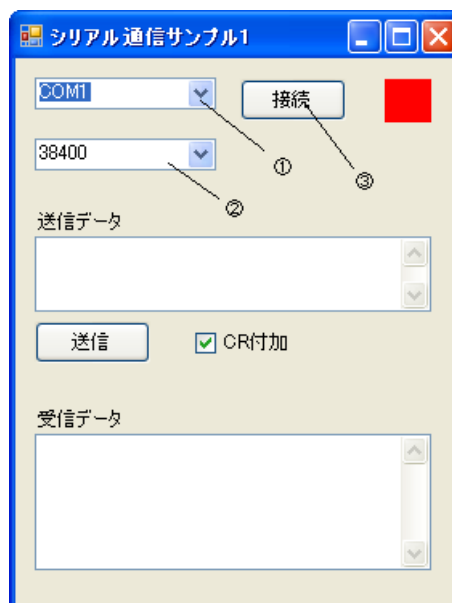
USB リーダ／ライタをお使いの場合はデバイス
マネージャを起動し、

→ポート (COM と LPT) →USB Serial Port (COMx)

の COMx を選択して下さい(x は数字です)。

右図②でリーダ・ライタとの通信速度を設定して下さい。

上記設定が終了後に「接続」を押下すると、プログラムはリーダ／ライタに接続されます。



2) サンプルプログラムの使用方法

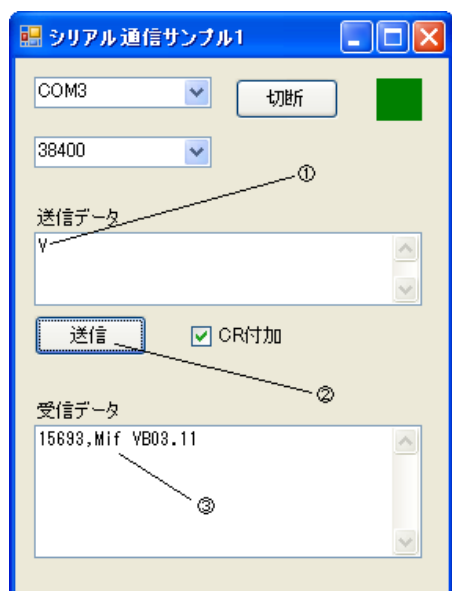
右図①「送信データ」欄にコマンドを入力して下さい (各コマンドはコマンド説明書をご参照下さい)。

右図②「送信」ボタンを押下すると、リーダ／ライタにコマンドが送信されます。

リーダ／ライタからのレスポンスを受信すると、右図③「受信データ」欄に表示されます。

例 1) バージョン情報コマンド

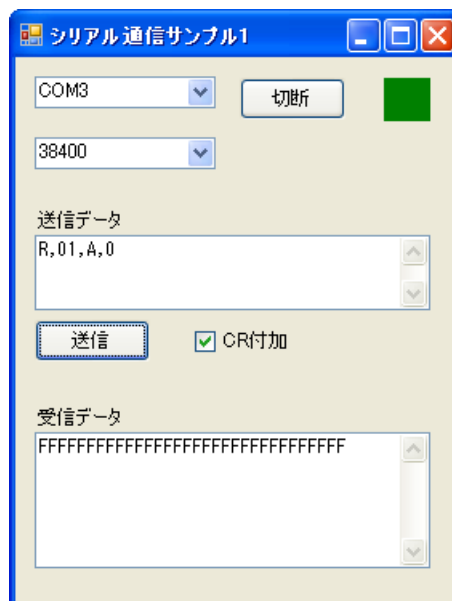
右図は、同コマンドを発行し、リーダ／ライタがそのバージョンを応答した状態を示しています。



例 2) Mifare 読出

右図の「送信データ」は、Mifare の 01 ブロックを
読出すコマンドです。

Mifare の 01 ブロックの内容が 16 バイト全て FFh
の場合、読出に成功すると「受信データ」欄には右図
の様に表示されます。



以上